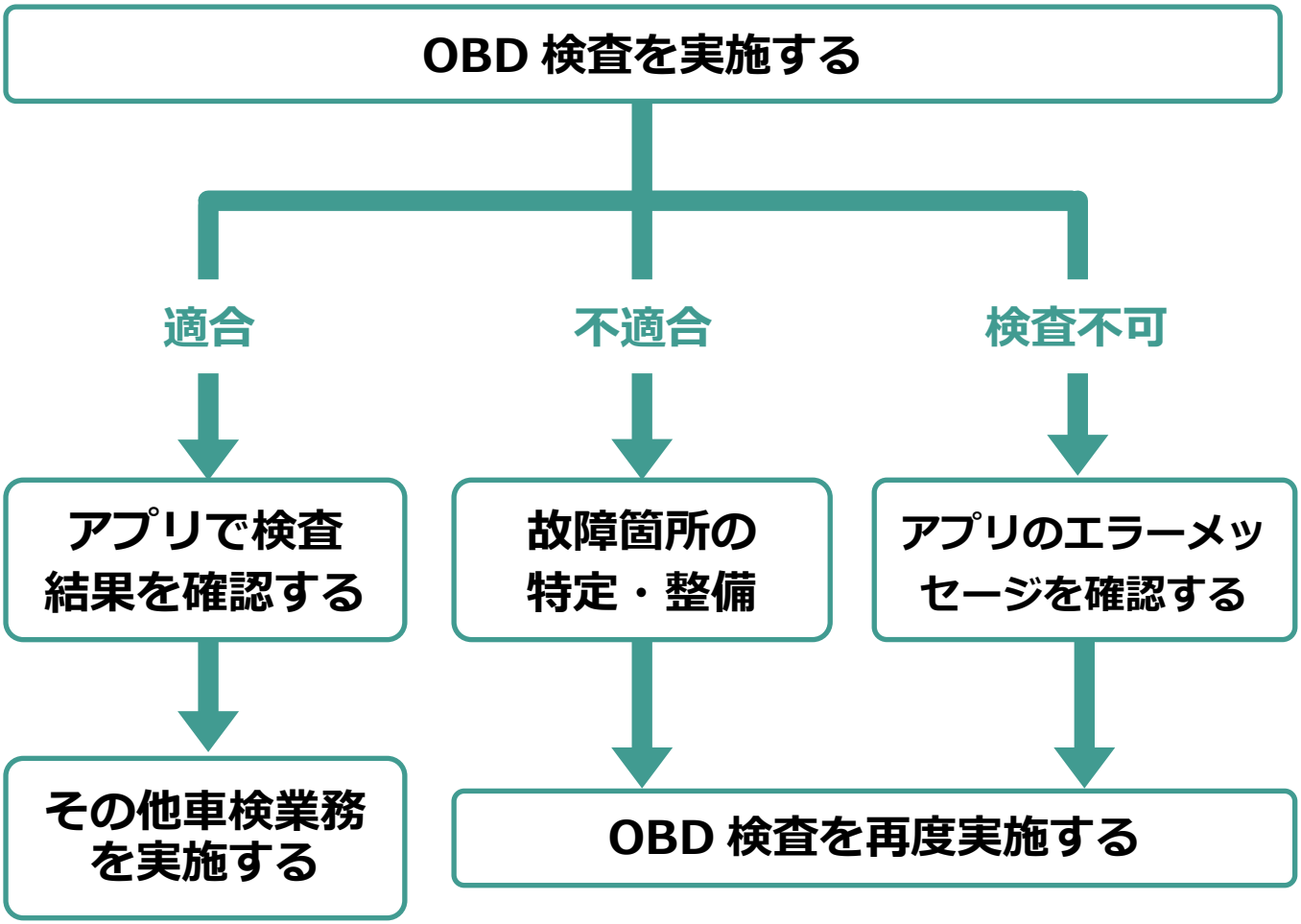
5 OBD 検査を行う

ご注意

- ここでは、OBD 検査の画面と操作手順を説明しています。OBD 検査と OBD 確認で基本的な操作手順は同じです。必要に応じて、「OBD 検査」と記載している箇所を「OBD 確認」に読み替えてください。
- OBD 検査要否確認で、OBD 検査不要と表示された場合に OBD 確認を行いたい場合は OBD 確認モードを使用してください。モード選択で「OBD 確認」を選択して、車両受付から行ってください。詳細については、「3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する」を参照してください。
- ネットワークエラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って接続環境を確認し、初めから操作を行ってください。
  エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。。

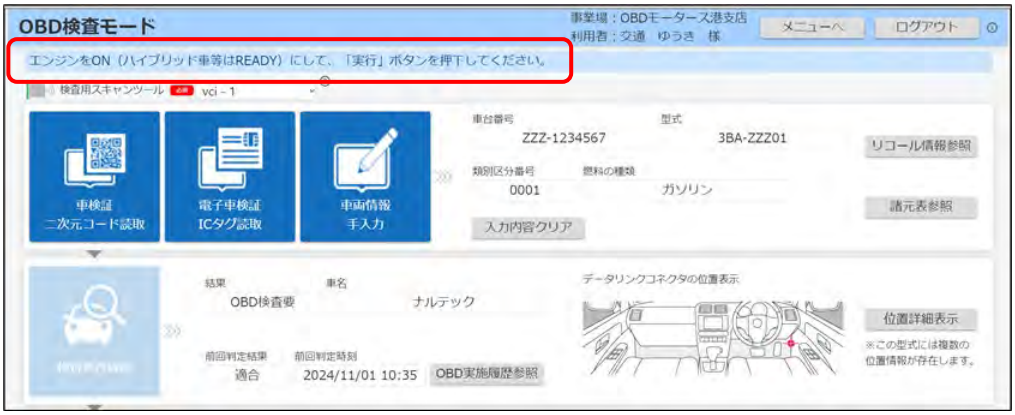


5.1　OBD 検査を実施する

ご注意

検査用スキャンツールを接続する前に、車両の電源が OFF であることを確認してください。

検査要否確認の結果が「OBD 検査要」の場合、アプリの画面に「エンジンを ON（ハイブリッド車等は READY）にして、「実行」ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。



1.　車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャンツールの接続端子を接続する

メモ

データリンクコネクタの位置や向きなどが分からないときは、「■データリンクコネクタの位置を確認する」（P. 52）を参照してください。

ご注意

検査用スキャンツールの接続端子は、車両のデータリンクコネクタに奥までしっかり挿入してください。

2.　車両のエンジンを ON（ハイブリッド車等は READY）にする

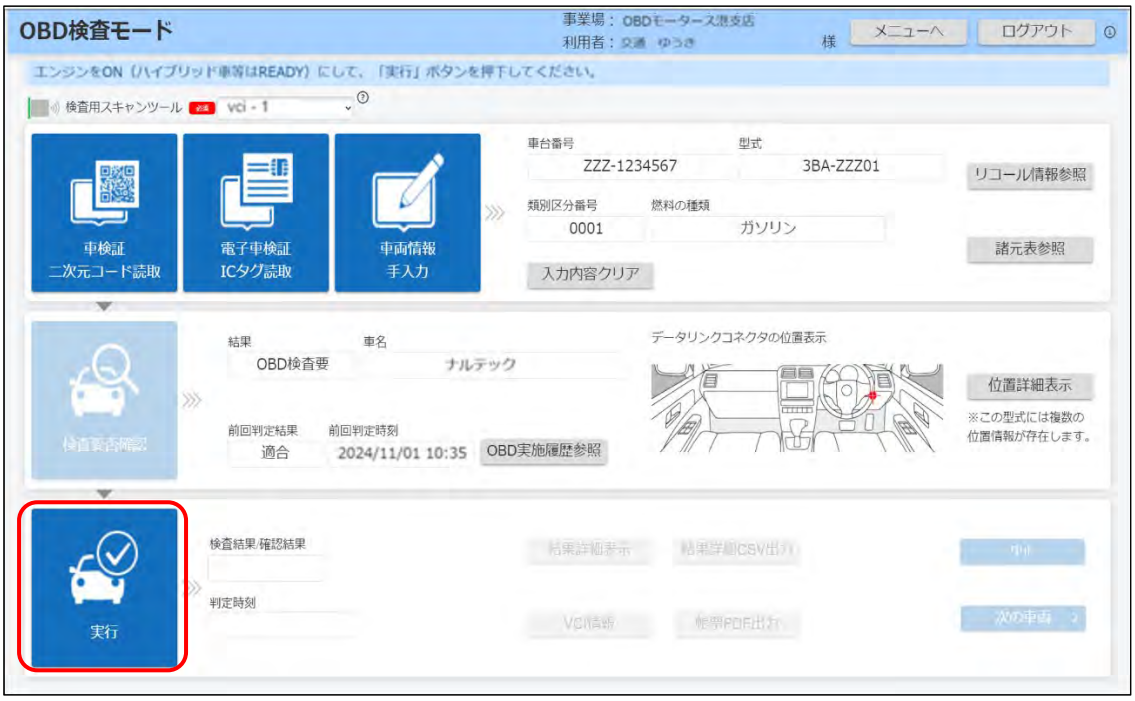
ご注意

キーOFF やイグニッション ON の状態で OBD 検査を実施した場合は、検査結果にかかわらず、エンジンを ON にした状態で再度「実行」ボタンを押下してください。

3. 《OBD 検査モード》画面で、「実行」を押す

ご注意

OBD 検査実施中は検査用スキャンツールの接続端子が抜けないように注意してください。途中で抜けてしまった場合は、再度「1. 車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャンツールの接続端子を接続する」からやり直してください。



「処理を実施しています。このままお待ちください。」というメッセージが表示されます。

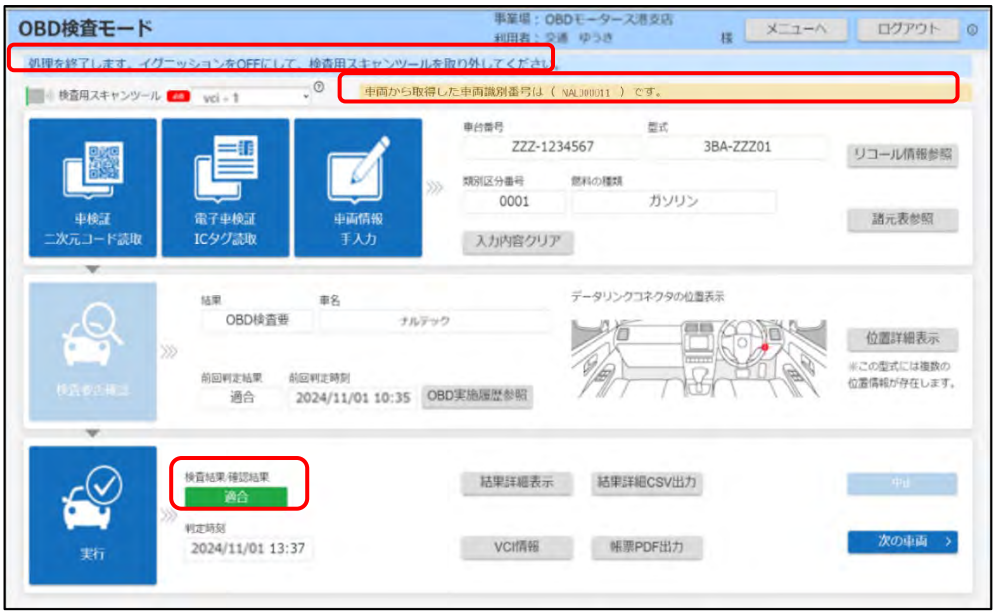
メモ

- OBD 検査の完了に要する時間は、ネットワーク回線や車種の違いなどの環境により異なります。
- 検査を中断する場合は、「中止」を押します。

検査が完了すると、検査結果が表示されます。

4. 検査結果を確認する

表示されたメッセージと検査結果（適合／不適合）を確認します。



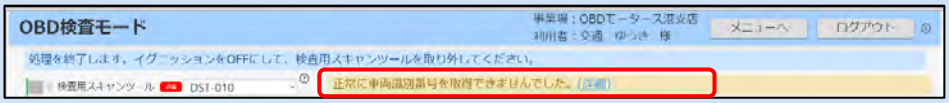
メッセージに従って、操作を行ってください。

検査結果	説明	表示されるメッセージ
適合	OBD 検査に適合です。	処理を終了します。イグニッションを OFF にして、検査用スキャンツールを取り外してください。 **メモ** 車両から取得した VIN（車両識別番号）が、表示されますので参考としてください。（「－（ハイフン）」 は除いて表示）
不適合	OBD 検査に不適合です。表示されるメッセージにしたがって、点検・整備を行ってください。	処理を終了します。イグニッションを OFF にして、検査用スキャンツールを取り外してください。
		車両との通信ができませんでした。（詳細）エンジンの作動状況や検査用スキャンツールの差込状況を確認してください。 このメッセージの詳細な操作は、 「7.14 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき」を参照してください。 **メモ** 車両から取得した VIN（車両識別番号）が、表示されますので参考としてください。（「－（ハイフン）」 は除いて表示）

空欄 （検査不可）	エラーが発生し、OBD 検査を正常に実施できていません。表示されるメッセージを確認し、再度 OBD 検査を実施する必要があります。	メッセージの例： 受検車両との通信でエラーが発生しました。検査用スキャンツールの接続を確認のうえ、再度、「実行」を押してください。

メモ

- 検査用スキャンツールを取り外すときは、イグニッションが OFF になっていることを確認してください。
- 現在故障のみを特定 DTC として検出するため、過去の故障履歴があっても OBD 検査結果に影響を与えることはありません。
- 以下のメッセージが表示された場合、データリンクコネクタとスキャンツールを接続し直して検査を再実施していただくことで車両識別番号を取得できることがあります。常にこのメッセージが表示される場合はコールセンターにお問合せください。



判定結果および必要に応じて、以下の操作を行ってください。

検査中に別ウィンドウで警告灯判定画面が表示された場合

「5.2 警告灯判定画面が表示された場合」を参照してください。

OBD 検査結果の詳細を確認したい場合

「6　OBD 検査結果を確認する」を参照してください。

次の車両の OBD 検査を行う場合

「次の車両」を押して、OBD 検査の初期画面に戻ってください。引き続き次の車両の検査受付ができます。「3　車両受付をする」を参照してください。

同じ車両の OBD 検査を行う場合

同じ車両の OBD 検査を再度行う場合は、「実行」を押してください。

検査を終了する場合

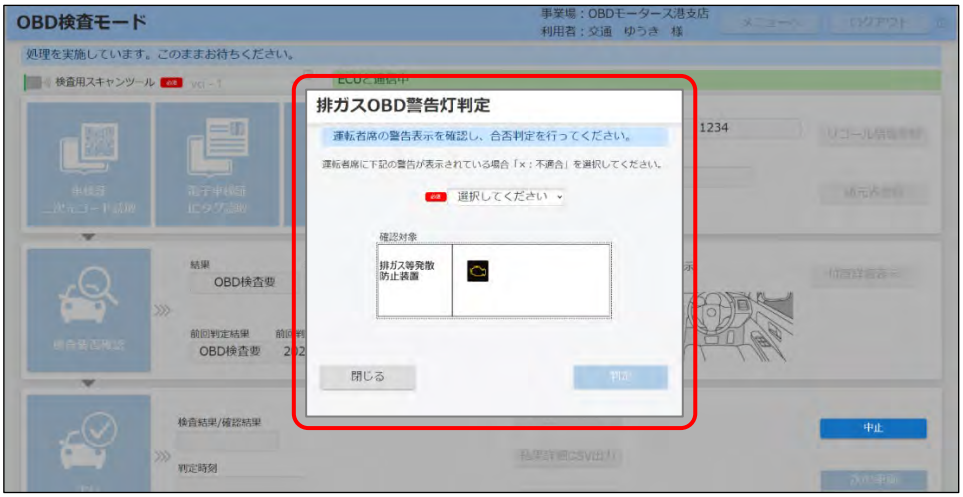
画面右上の「ログアウト」を押して終了します。

「■アプリからログアウトして終了する」（P. 23）を参照してください。

5.2　警告灯判定画面が表示された場合

改造により排ガス規制の適用が変わった場合、または安全系の OBD 検査対象装置との通信ができなかった場合は、警告灯判定画面が別ウィンドウで表示されることがあります。画面の表示に従って運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

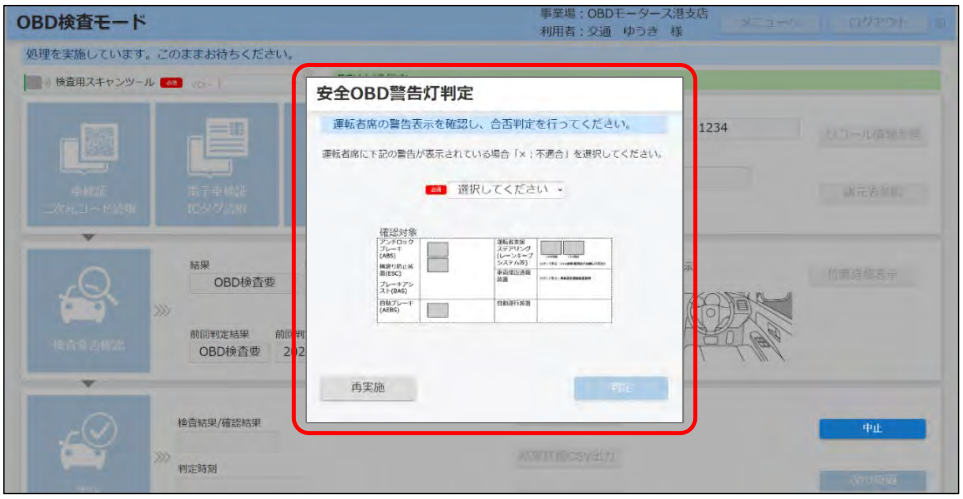
《排ガス OBD 警告灯判定》画面が表示された場合



※実際の画面とは異なる場合があります。

上記の画面が表示された場合、「■排ガス OBD 警告灯判定が表示された場合」（P. 64）を参照してください。

《安全 OBD 警告灯判定》画面が表示された場合



上記の画面が表示された場合、「■安全 OBD 警告灯判定が表示された場合」（P. 65）を参照してください。

■排ガス OBD 警告灯判定が表示された場合

運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。

- 排ガスに関連する警告表示がされている場合は、**不適合**と判定します。
- 排ガスに関連する警告表示がされていない場合は、**適合**と判定します。

警告表示を確認し、以下のどちらかを選択します。
○：適合
×：不適合

確認する警告表示の画面や説明が表示されます。

判定を行わずに画面を閉じます。
《OBD 検査モード》画面に戻ります。

ご注意

OBD 検査はまだ終わっていません。

適合または不適合の判定を確定して画面を閉じます。

※実際の画面とは異なる場合があります。

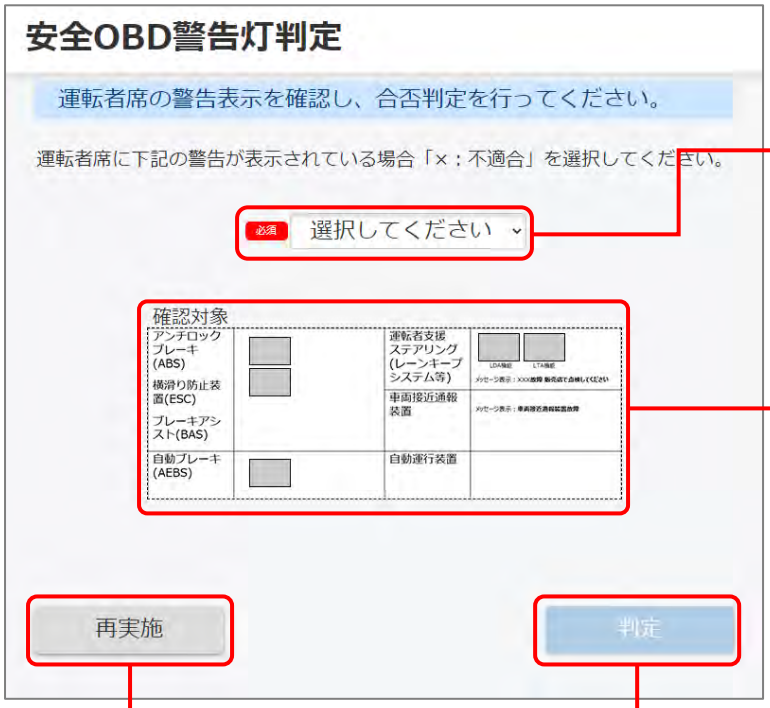
メモ

「判定」は、「○：適合」または「×：不適合」を選択した後に押せるようになります。

■安全 OBD 警告灯判定が表示された場合

安全系の OBD 検査対象装置との通信ができなかった場合、《安全 OBD 警告灯判定》画面が表示されます。運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。

- 安全系の OBD 検査対象装置に関連する警告表示がされている場合は、**不適合**と判定します。
- 安全系の OBD 検査対象装置に関連する警告表示がされていない場合は、**適合**と判定します。



警告表示を確認し、以下のどちらかを選択します。
○：適合
×：不適合

確認する警告表示の画面や説明が表示されます。

判定を行わずに画面を閉じます。
《OBD 検査モード》画面に戻ります。

ご注意

OBD 検査はまだ終わっていません。

適合または不適合の判定を確定して画面を閉じます。

メモ

「判定」は、「○：適合」または「×：不適合」を選択した後に押せるようになります。